

16 M.O.F.の帽子職人・日爪ノブキ（2020年12月8日）

帽子職人の日爪ノブキさんは、2019年に39歳の若さで、フランス国家最優秀職人章（Meilleur Ouvrier de France : M.O.F.）に認定されました。日爪さんは、帽子職人としては日本人初のM.O.F.です。M.O.F.は90年以上の歴史を持ち、これまでに様々な分野の名職人がM.O.F.に名を連ねています。



M.O.F.の試験は4年に一度行われ、製菓やパンを含む食品関連、木工や家具製作、金属加工、陶器やガラス制作、洋服関連、刺繍や靴等の装飾品とヘアメイクを含む美容関連、宝石加工、時計や刃物を含む精密技術、楽器製造や楽器修理、庭園管理を始めとする17のグループに分類された230以上の職業が対象になっています。日爪さんは、およそ2年という審査期間をかけ、一次審査の書類審査、二次審査の実技試験及び面接、そしてファイナリストによるコレクション製作（最終審査）の厳しい試験を経て、見事にModiste（帽子職人）のM.O.F.に認定されました。そして、受章者を集めて大統領府で行われた記念式典では、マクロン大統領にも面会しました。



Photography Yusuke KINAKA

フランス人のM.O.F.で日本人に良く知られた人物と言え、料理人のポール・ボキューズやジョエル・ロブションが挙げられます。2018年に他界したポール・ボキューズは、生前にフランス政府から何度も勲章を受け、日本政府からも勲章（旭日小綬章）を受けましたが、コックコートとM.O.F.のメダルを着けて埋葬されたそうです。世界に名を馳せたポール・ボキューズにとっても、M.O.F.は、一流の職人としての証であり、誇りだったのでしょう。

実は日爪さんは、最初から帽子職人になろうと考えていたわけではありません。学生時代にファッションの勉強をした日爪さんですが、最初は帽子が嫌いだったそうです。しかし、ブロードウェイミュージカルの衣装の仕事で依頼を受け

## パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

て独学で帽子を製作するようになりました。そして、世界でトップを目指すために、日本の文化庁から派遣されてパリで帽子製作の技術を学び、努力を重ねて一流の帽子職人としてフランスで認められました。

フランスには、毎年文化庁から派遣されて研修を行っている若き日本人芸術家があります。先月、日爪さんと現役の研修生とのオンライン交流会を行いました。日爪さんは、日本人らしさを活かしてどのようにフランスで受け入れられる作品を発表していくのか、困難にぶつかったときにどのようにして壁を乗り越えてきたのかなど、研修生たちに熱く語ってくれました。これからも日爪さんが益々活躍されることを期待しています。そして、研修生の皆さんが、日爪さんに続いて世界で認められた芸術家として活躍することを願って応援しています！